令和元年度事業報告

１、概要

甲賀市における令和 2 年 3 月末の人口のうちで 65 歳以上の高齢者が占める割合は 27.6%の 25,000 人、シルバー人材センターの加入対象の 60 歳以上の高齢者の割合は、34.0%の 30,794 人といずれも過去最高を更新しています。

昨今、経済情勢は緩やかな回復基調が続いており、雇用環境は改善傾向で企業における人手不足も顕在化し、働く意思のある高齢者の活躍の場を広げるべく国は昨年 4 月に働き方改革に着手しました。現在 65 歳までとされている企業における雇用確保措置を 70 歳まで延伸する措置の導入を提唱するなど元気で意欲に溢れ、豊かな経験と知恵を持っている高齢者がいつまでも働ける環境づくりが急速に進められています。また、企業においては「65 歳雇用延長の定着」「定年のさらなる延伸や撤廃の動き」などへの対応が進み、60 歳からのシニア層を対象としているシルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変わってきており、全国的に会員数は伸び悩み、会員の高齢化が急速に進んでおります。

このような中ではありますが、甲賀市シルバー人材センターは健康で働く意欲のある地域の高齢者に対して、日常生活に密着した請負業務や企業の人手不足分野での労働者派遣を中心とした就業機会の提供、会員が講師となるカルチャー講座の開催、また、仲間づくりを目的とした同好会活動、地域活動の社会参加を目的とした清掃ボランティア活動など、「働く」・「学ぶ」・「楽しむ」・「参画する」を通じて生きがいづくりや健康づくりを再認識しながら地域高齢者の「居場所」と「出番」を積極的に創出してまいりました。

とりわけ令和元年度においては、国が提唱する生涯現役社会の実現にむけて補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を有効活用し、人手不足分野での労働者派遣業務を積極的に推進したことや期間を設け「会員紹介カード」での入会推進の実施、本格的に「シルバーフレンドリーショップ制度（会員優待割引制度）」を導入したことにより、会員数、契約額ともに昨年に引き続き伸びが見られました。

国が進める様々な施策や今年 2 月からの新型コロナウィルス感染症拡大の脅威との間で揺れる状況下ではありますが当センターは地域の高齢社会を支える中核的組織として、意欲と能力に応じた請負、派遣を中心とした就業機会の提供や講座等の開催、子育て等のイベントへの参加、地域ボランティア活動など様々な事業活動を通じて高齢者の経験と能力を活かした地域社会づくりに取り組んでまいりましたので、その概要について報告いたします。

【事業実施状況】

①就業機会の確保・提供

就業支援アドバイザーや雇用・就業機会確保推進員を活用し事業所への継続的な訪問活動やハローワーク甲賀での就業相談を実施、前年度に引き続きスーパー業務等の人手不足分野での労働者派遣業務を積極的に推進したことにより契約額が前年度の実績を大きく上回る結果となりました。

請負、派遣事業と合わせた契約額が358,553,345円(前年340,001,065円)就業延べ人員が71,872人日（前年70,115人日）と前年に比べて契約額で18,552,280円、就業延べ人員で1,757人日の増となりました。

②会員の拡大

ハローワーク甲賀での就業相談業務や入会セミナーを通じて入会促進に努めるとともに広報紙「シルバーこうか」(8月、1月）の発行やあいコムこうかケーブルテレビのＣＭ放映(10月)、また、会員加入推進期間(2/1～2/29)を設け、「会員紹介カード」の配布、会員の福利厚生の充実を目的としたシルバーフレンドリーショップ制度（会員優待割引制度）を導入するなど会員増強の取り組みを実施した結果、3月末会員数は前年より10名増の1,201名（男性720名、女性481名）となりました。

年度期間中の入会会員数は153名おられ、着実な会員拡大につなげています。

③安全・適正就業の推進

「ゆとりこそ無事故につながる第一歩」の安全標語を掲げ、5月31日に開催された安全就業推進大会では、甲賀警察署植田巡査部長より「高齢者の交通安全について」と題して講演をいただき、気持ちを新たに安全就業に取り組んで参りました。5月には甲賀警察署の協力のもと甲賀自動車教習所にて交通安全教室を開催、7月の安全適正就業月間ではのぼり旗を掲げ、安全就業推進員のメンバーによる安全就業パトロールを実施､6月と3月には｢こうか安全ニュース｣の発行を通じて熱中症対策や新型コロナウィルス感染症の注意喚起を行い手指消毒液を配布し会員個々の安全衛生意識の向上に努めました。

結果として年間の事故件数は賠償事故4件(昨年8件)、傷害事故5件(昨年3件)の計9件（昨年11件）と若干減少いたしましたが、大きく減とはなりませんでした。

一方、適正就業においては、厚生労働省から示された適正就業ガイドラインを活用し、請負、派遣、職業紹介の就業形態別の働き方について周知するだけでなく、派遣就業への積極的な移行に取り組みました。

④普及啓発の推進

シルバー事業の活動内容等を周知し、事業に対する理解と就業機会の拡大、会員増強を目指して、8 月、1 月の年 2 回広報紙「シルバーこうか」を、また、シルバー人材センター主催の講習会の案内を兼ねた啓発パンフレットを 7 月にそれぞれ新聞折込にて市内全戸に配布しました。

さらに、10 月の普及啓発月間には子どもたちの学びの場を広げるイベント「甲賀っこまつり」を市と共催し、世代間交流の部分もしっかり担いました。また、子どもたちと一緒に来場された地域の皆さまに対しシルバー事業の活動を紹介するパネルの展示やアンケートの実施等で普及啓発に努めました。

また、ホームページでは就業情報等を随時更新、ＳＮＳ（フェイスブック）を活用し、最新の情報発信に努めました。

⑤組織、運営体制の充実強化

会員よる自主的な組織運営を促進するために、各地域の地域班、職群班や就業現場でのグループとの連携を図り、発注者への見積や現場管理などについては可能な限り班長や会員主体での実施を推進しました。

さらには毎月発行の会報「シルバーだより」を通じて会員個々と事務局との連携強化を図り、活力ある組織づくりに努めました。

⑥ 技能講習会等の実施

就業に必要な技能、知識の習得、新たな人材発掘を図るために高齢者活躍人材育成事業を活用し、一般の方を対象に講習会を実施しました。主な内容としては昨年に引き続き深刻な人手不足である農業関連分野においての技能講習として畑の土づくりから種まきなどの園芸講習を 9 月から 11 月にかけて実施しました。

さらには各部会で障子・襖張替講習やアレンジメントフラワー、苔玉づくり講習を実施、魅力ある講習会の開催を通じて新たな会員の獲得と就業支援に努めました。

⑦ 福祉・家事援助サービス事業の推進

市の実施する高齢者障がい者安心生活支援事業との連携を図り、関係機関やケアマネージャーとの調整をおこない、介護保険では適用されない軽易な作業（ゴミ出し、買い物支援、清掃などで件数 30 分未満 51 件、1 時間未満 189 件の合わせて 240 件）を受注しました。

また、介護予防への取り組みとして市の保健師の協力のもとシニア世代の健康推進研修会を開催、多くの参加をいただきました。

⑧ 独自事業等への支援

甲賀野菜ブランド化推進支援事業、生涯現役・生涯学習活き活き生活支援事業については、補助事業終了後も引き続き独自事業として実施しました。

甲賀野菜ブランド化推進事業では、かんぴょう、玉ねぎ、にんにく、里芋等の環境こだわり野菜を、ワークプラザやＪＡの花野果市等で販売、甲賀まんてん野菜のＰＲに繋げました。特にかんぴょうについては、地元ゲートボール大会での店頭販売や大阪で開催された伝統食まつりに出荷しました。

また、活き活き生活支援事業では、編み物、太極拳、パッチワーク、英会話、囲碁、人形作り、布絵、リズム体操、刃物研ぎ、大正琴、切り絵、鉛筆デッサン、お茶、コーヒーの淹れ方、実用習字、絵手紙、スマートフォンの使い方のカルチャー講座を開催、一般の方も含めて延べ 1,452 名の方にご参加いただきました。

⑨ 労働者派遣事業の実施

滋賀県シルバー人材センター連合会、ハローワーク甲賀との連携を図り、国の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、臨時的かつ短期的な雇用就業を希望する地域高年齢者に対して、積極的に派遣事業による就業機会の提供を実施しました。この結果、271 名の方が就業されました。

⑩地域社会貢献の実施

地域社会貢献及びシルバー事業を広く周知する普及啓発活動の一環として、10月16日（水）の県内一斉「シルバー環境美化の日」において、会員308名の参加のもと市内各地域において一斉清掃ボランティア活動を実施しました。